

『地域の課題解決に向けた自立的なモデルとは』

～外食事業者の参加を促す仕組みづくり～

**地域に様々な存在する課題の解決には、地域全体での取り組みが不可欠です。
割り箸リサイクルをモチーフに外食事業者等の積極的参画を促すヒントを探りながら、本シンポジウムを通じて地域で取り組む持続可能な事業スキームの可能性を展望します。**

農林水産省の補助事業である外食産業バイオマス利用実験事業では、全国4つのモデル地区において、外食事業者等との協働のもと、割り箸リサイクルの実験・実証事業が行われています。その一方で、持続的な事業推進に向けては、克服すべき課題も数多く存在しています。

そこで、本シンポジウムでは、環境問題など地域が抱える課題の解決に資する活動・事業が継続的に行われるための基盤となる事業スキームについて検討するとともに、いかにして外食店舗をはじめとした地域の事業者の参加を促進していくことができるのか、といった具体的な方策について検討していきます。

本シンポジウムを通じて、地域の課題解決に向けた事業スキームのモデルを模索すると同時に、地域の一員である外食事業者の方々の積極的な参加を通じた地域全体の発展可能性を問いかけていきます。

開催日 2009年11月27日(金)

入場料 無料

開催時間 12時30分 受付開始
13時 開演
16時30分 終了予定(進行状況により多少前後します)

開催場所 全国情報サービス産業厚生年金基金
JJK会館2階多目的ホールA・B
東京都中央区築地4-1-14

- ◎ 東京メトロ日比谷線「東銀座」6番出口より徒歩3分
- ◎ 都営地下鉄浅草線「東銀座」6番出口より徒歩3分
- ◎ 都営地下鉄大江戸線「築地市場」A3出口より徒歩5分

会場への直接のお問い合わせはご遠慮くださいますようお願いいたします



第1部 講演

- 基調講演 「地域の課題解決に向けた新しい事業スキームの可能性～その動態と割り箸リサイクルへの示唆」
中村 陽一氏 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授
- 特別講演1 「『一店一エコ運動』の成り立ちとその取り組み推進におけるポイントと課題」
伊藤 博氏 モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合 理事長
- 特別講演2 「国産割り箸を通じた環境と福祉をつなぐ地域事業モデルの挑戦」
鹿住 貴之氏 特定非営利活動法人 JUON(樹恩)NETWORK 事務局長
- ※各講演のテーマはいずれも現時点での仮題です。

第2部 パネルディスカッション

テーマ「地域の自立的な事業スキームにおける外食事業者の役割とその可能性」

【パネラー(あいうえお順)】

- 伊藤 博氏 モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合 理事長
鹿住 貴之氏 特定非営利活動法人 JUON(樹恩)NETWORK 事務局長
中村 陽一氏 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授
宮腰 智裕氏 株式会社松屋フーズ・グループ 株式会社エム・エル・エス 常務取締役 事業部長

【コーディネーター】

株式会社 日本総合研究所

お問い合わせ

株式会社 日本総合研究所 〒102-0082 東京都千代田区一番町 16 番
TEL 03-3288-5375 FAX 03-3288-6349 e-mail 200010-waribashi-recycle@mljri.co.jp
URL <http://www.jri.co.jp/>

参加登録は、上記、**FAX または e-mail のみ**の受付となります